

邦楽展

Koto Collection Today

vol.30

二十絃箏の各時代を観る

二十絃箏は2019年に50周年を迎えます。

同楽器は新しい箏として表現力を拡大し現代の作曲家や演奏家の
思いを充分に発揮できる楽器として活躍・発展してきました。

邦楽展ではその1969年からの歩みを年代ごとに

振り返る演奏会を企画、今回はその第1回となります。



曲目 (曲順未定)

- 1969 入野義朗——2つのファンタジー〜二十絃箏と十七絃箏のための〜
吉村七重・田村法子
- 1971 池辺晋一郎——紡ぐ〜二十絃箏独奏のための〜
田村法子
- 1972 助川敏也——秋の夜〜二十絃箏独奏のための〜
下田れい子
- 1977 池辺晋一郎——凍る〜十三絃箏独奏のための〜
大谷祥子
- 1977 長澤勝俊——樹冠〜尺八・二面の二十絃箏・十七絃箏のための〜
福田輝久(尺八)・坂本ゆり子・下田れい子・丸岡映美
- 委嘱新作
2017 久田典子——神話の国の心象風景〜二面の二十絃箏のための〜
吉村七重・坂本ゆり子



田村法子



久田典子

2008年から邦楽展とコラボレーションを開始。「神話の国の心象風景」は(二面の二十絃箏作品の)シリーズとして2015年から執筆継続中。



福田輝久(尺八)

「邦楽聖会代表」伝統尺八曲はもとより現代に創造される作品演奏を国内外において手掛けている。



坂本ゆり子



吉村七重



大谷祥子



下田れい子



丸岡映美

2017年11月20日(月)

開演 19:00 (開場 18:30)

[チケット]一般:3,000円(当日3,500円)

[会場]角筈区民ホール(新宿区)

[お問い合わせ]吉村七重箏研究所 nanaehp@gmail.com

後援:公益財団法人日本文化芸術財団、邦楽ジャーナル、ジャポニスム振興会

主催:吉村七重